

日本共産党
厚木市

議員団ニュース

2012年3月① 400号

議員団HP <http://jcpatsugi.blog.shinobi.jp/>

今週の活動から



月曜朝と金曜夕方は本厚木駅頭での街頭宣伝。2月議会の内容や、東日本大震災救援募金と、地域経済に影響を及ぼす消費税増税反対、320億円の政党助成金廃止を訴えて、看板をたくさん出します。(左:釘久次議員、右:栗山香代子議員)



JAあつぎがTPPで学習会

その計い知れない影響

2月16日(木)、厚木市文化会館大ホールで、JAあつぎ主催で「TPPでどうなる? もう一度考えてみよう」日本の農業・経済・暮らしとTPPを考える学習会」が開催されました。

冒頭、JAあつぎから「TPPについて、政府から十分な説明がされていない。正しい知識を身につけ、もう一度TPPの事を考えていただきたい」と挨拶。

その後「TPP情勢報告とJAあつぎTPP交渉参加反対運動への取り組みについて」の報告がありました。

JAあつぎからは、厚木市議会へ2度に渡って陳情が出されています。一度目は継続でしたが市議会議員の任期切れで事実上の廃案、2度目によっと国に意見書を出すことができました。

講演は東京大学大学院の鈴木宣弘氏で、「TPPの経済・社会・環境・農業等への影響」

資料は24ページ、細かい字でぎっしり。大変な勢いで、TPPが日本にとって、どんなに酷いものかを1時間20分に渡って、まくしたてました。

日本の国土面積の9割は反対との感情。なのに交渉参加の結論ありきで、国民の意見を聞くつもりはない。子どもだましにもならない見え見えの推拙な政策決定プロセスは、民主主義の国家の体をなしていません。

関係者のみなさんが後ろ向きにならないことだ。どんな逆境をもプラスに変える不屈の精神が試される。いざという時に国民に食料も提供できない、病気になることも治療が受けられない

い人が続出するような国に日本をするわけにはいかない。

1. 震災復興とTPP

原発で国は「大丈夫」と言って取り返しのつかない事故を起こした。事故後は情報隠蔽。でも、責任を取らない。

2. TPPの内容

①「開国」の意味

TPPはFTAの1種だが、例外は全くない。無法のルールの中で殴り合っ

て、アメリカが勝つんだ。

②日本は「鎖国」なのか
食料自給率40%。国民の体の原料の半分以上が海外依存。こんな体には誰がした。

「開国フォーラム」は何だったのか
具体的なことは全く示さず、中断。

③様々な安全基準の緩和

「対日年次改革要望書」で米国が日本に要求している事案は山のようにある。安全基準の緩和も含まれる。

BSE(狂牛病)検査、遺伝子組み換え食品、ポストハーベスト(収穫後農薬)、食品添加物など。

④P4協定に着目

チリ、シンガポール、ニュージーランド、ブルネイの4カ国協定。(物品貿易の開税は全品目撤廃。国際入札の低い基準額など)がベースになる。政府はなぜ、この協定について国民に説明しないのか。

⑤輸入FTAに着目
TPPは韓米FTAを強化するものになるが、日本政府は説明しようとしていない。

⑥例外なき開税撤廃の農林水産業への深刻な影響
すでに日本の食料の9割の品目は低関税。TPPで価格は暴落。田畑の荒廃は地域経済の荒廃に直結する。

⑦情報操作か、情報操作以前の問題か
マイナスイメージは農業だけではなく。これまで守られてきた軽工業分野、サービス分野の金融、医療も。

政府は各省庁に懸案事項の検討指示さえしていない。政府は、日本がTPPに参加すれば何が起きるのか本当に考えていないのかも知れない。

3. TPPを巡る論点

多くの間違いを指摘

- ・貿易自由化の流れは避けられない
- ・最も優れた自由貿易
- ・農業が障害でFTAが進まなかった
- ・農業保護VS国益
- ・交渉すれば例外も認められる。離脱も可能
- ・影響評価に関する各種試算
- ・所得補償すれば大丈夫
- ・輸入米価格は80kg3千円が、9千円に。
- ・ゼロ関税まで10年あるからそれまでに規模拡大すればいい
- ・補てんの対象を大規模農家に絞ればいい
- ・日本のコメ生産は減少しない
- ・牛乳が安くなるからいい
- ・日本農業は過保護 などなど

4. 対案の提示

- ①アジアの経済連携の具体化
- ②強い農林水産業のために
- ③自分たちの食は自分たちが守る
- ④食に安さだけを追求することは命を削り、次世代に負担を強いることになる

おわりに

徹底的な規制緩和で市場原理にゆだねればいいのかというのは、単純明快だが、極めて原始的で稚拙だ。

ルールなき競争の結果、大多数が食料も医療も十分に受けられないような格差社会が生まれる。

最悪は中絶を見つかること。
TPPの議論をあきらめずに、前向きに、蜂の巣をついたような動きをしよう。

2月議会の今後予定

3月	5日(月)	総務企画常任委員会
	6日(火)	市民福祉常任委員会
	7日(水)	環境教育常任委員会
	8日(木)	都市経済常任委員会
	9日(金)	常任委員会予備日
	16日(金)	議会運営委・本会議

時間は、午前9時から
ぜひ、傍聴においでください。